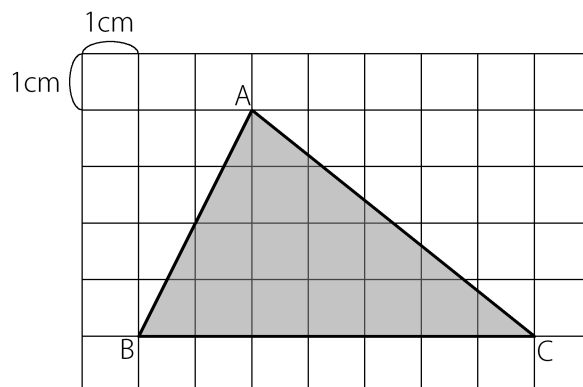




例題 1

右図の三角形ABCの面積は何 cm^2 ですか。



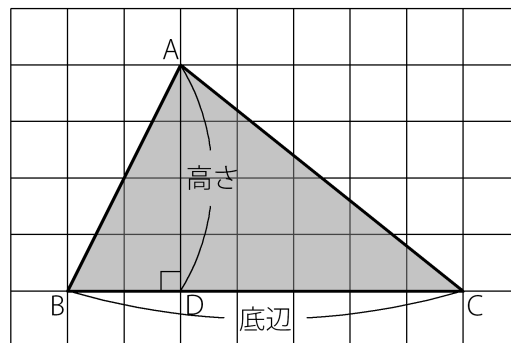
答え 14cm^2

[例題 1 の解説]

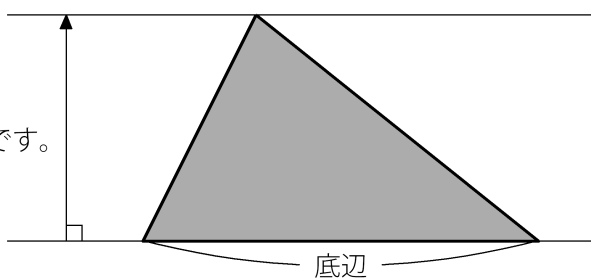
三角形の面積=底辺×高さ÷2 で求めることができます。

右図のように底辺から垂直な直線ADが高さです。

底辺は7cm、高さは4cmなので、 $7 \times 4 \div 2 = 14$ より
面積は 14cm^2 であることがわかります。



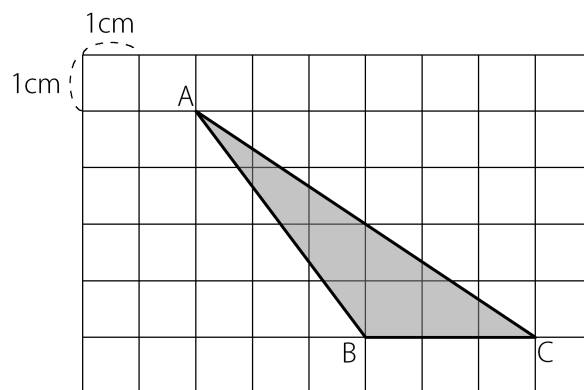
底辺からまっすぐ
いちばん上までが高さです。





例題 2

右図の三角形ABCの面積は何 cm^2 ですか。

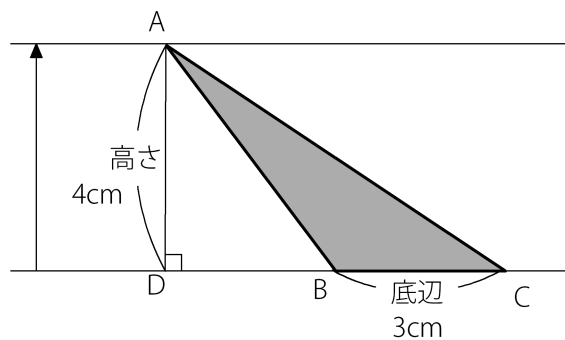


答え 6cm^2

[例題 2 の解説]

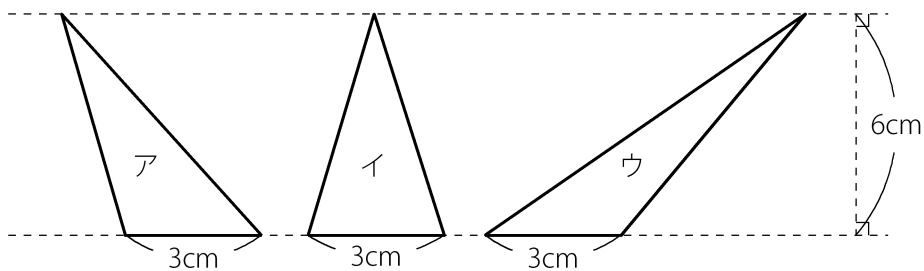
右図より底辺は 3cm 、高さは 4cm なので、 $3 \times 4 \div 2 = 6$ より面積は 6cm^2 であることがわかります。

右図のように底辺からまっすぐ(垂直に)いちばん上までの長さが高さです。ABの長さが高さではありません。気をつけましょう。



底辺と高さが等しければ面積も同じです。

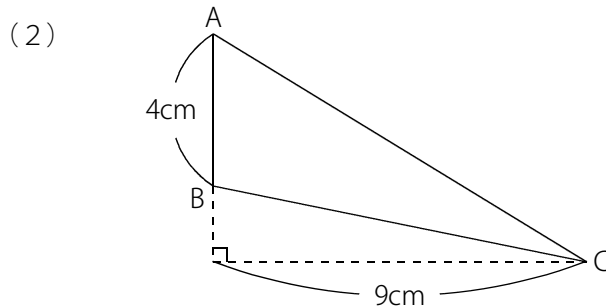
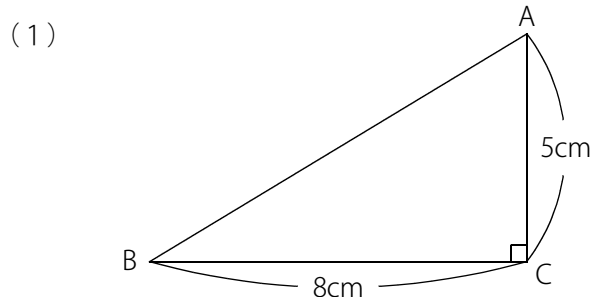
右のアとイとウの三角形の面積はすべて同じです。





例題3

次の三角形ABCの面積は何 cm^2 ですか。



答え (1) 20cm^2 (2) 18cm^2

[例題3の解説]

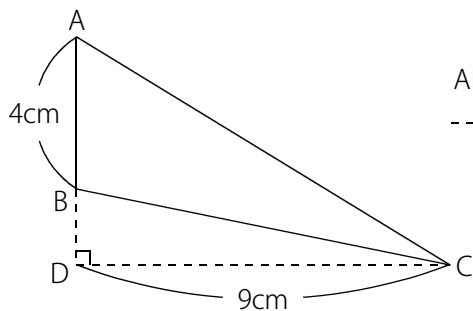
(1) 底辺の長さは 8cm 、高さは 5cm です。

$$8 \times 5 \div 2 = 20\text{cm}^2$$

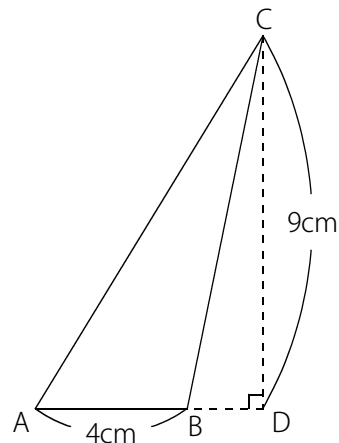
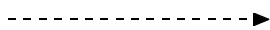
(2) 下図のように底辺が AB 、高さが DC です。

底辺の長さは 4cm 、高さは 9cm です。

$$4 \times 9 \div 2 = 18\text{cm}^2$$



ABを底辺として見る





ポイントまとめ

- 三角形の面積＝底辺×高さ÷ 2
- 底辺からまっすぐ(垂直に)いちばん上までの長さが高さです。